



## がんばる子どもたち!



## 「あいさつ」レベルアップ!

緊急事態宣言の中、子どもたちの感染予防・健康管理ありがとうございます。感染防止のため、6月の参観日を止む無く中止いたしました。こうした状況下でも、元気に学習や運動に取り組む子どもたちの姿をお見せしたかったのですが残念です。

学校では現在、あいさつのレベルアップにチャレンジしています。「おはようございます」のあいさつができれば十分なのですが、加えて「笑顔で」「会釈」「元気(大声ではなく)」が加わればさらに素晴らしいということで取り組んでいます。最近、会釈する児童や笑顔であいさつができる児童が増えてきました。

また、適度な声の大きさでさわやかにあいさつすることもできてきています。休み時間、廊下ですれ違っても会釈したり「おはようございます」とあいさつしたりする児童も増えてきています。こうした行動のお手本は高学年です。6年生・5年生の高学年が素晴らしいお手本を示してくれています。あいさつは、基本的な学力と共に将来社会の中で生活する子どもたちにとって大切な力であると考えています。あいさつに加え、「ありがとう」の感謝の言葉が素直にできる子どもたちを育てていきたいと考えています。

## 一人一台端末 新しい学習スタイル

GIGAスクール構想による児童一人一台端末の本格的な活用が始まりました。国語、算数、社会といった学習をはじめ、音楽での曲づくりや理科の観察など、様々な場所で使用しています。それに伴い、子どもたちのスキルもみるみるうちに向上してきています。自分の考えを短くまとめて全員に送ったり、全員の成果が電子黒板に表示されたり、友達のまとめを個別に参照することができたりするなど新しい学習のスタイルが生まれつつあります。目指すところは、PCを活用した、情報処理能力や思考力・表現力の向上です。子どもたちにとってPCを文房具と同じように使用できればと考えています。ご家庭での活用も可能な範囲でお試しく下さい。



## 体力テスト実施中



梅雨の合間を縫って体力テストを実施しています。今年度はコロナ対策の一環として、持久力テストであるため、マスクを外して実施する必要があるシャトルランは屋外実施としました。運動場に設置した熱中症計の数値をにらみながらの実施となっています。コロナ予防対策に加えて、今後は熱中症対策も必要になってきます。学校でも子どもたちの健康管理に気を付けていきたいと思えます。

## しあわせのバケツ (5月31日 テレビ朝礼にて)

人権週間のある6月に向け、テレビ朝礼でキャロル・マックラウド作の絵本「しあわせのバケツ」の朗読をしました。世界中のみんなが持っている目に見えない「しあわせのバケツ」についての話です。この「しあわせのバケツ」がいっぱいになると人はとても幸せな気持ちになり、反対に空っぽだと悲しくなります。「しあわせのバケツ」がいっぱいにするには周りの人の協力が必要です。誰かに、感謝の気持ちを伝えたり、素敵だねと伝えたり、親切にしたり、微笑みかけたりしたとき、しあわせのバケツはいっぱいになります。反対に誰かをいやな気持ちにさせたり、バカにしたり、意地悪なことをしたり、悪口を言ったり、無視したりして相手のバケツを空っぽにすると自分のバケツも空っぽになってしまいます。

人のバケツを空っぽにしても自分のバケツをいっぱいにはできません。自分が誰かのバケツをいっぱいにすると自分のバケツもいっぱいになります。この絵本のテーマは「人を幸せにすると自分も幸せになれるということ」だと思えます。そして後半は、バケツをいっぱいにする方法が語られます。家族に好きだよと伝えること。笑顔であいさつすること。友達を遊びに誘うこと。おじいちゃんと一緒にいると楽しいねと伝えることなど…。子どもたちは何を感じてくれたでしょうか。深いテーマを持ったお話です。早速翌日、ある児童が笑顔で「今日は校長先生のバケツはいっぱい？」と声を掛けてくれました。「そうだよ!」とこたえました。日に日にたくさんのことを学んでいく常盤小のかわいい子どもたちです。

